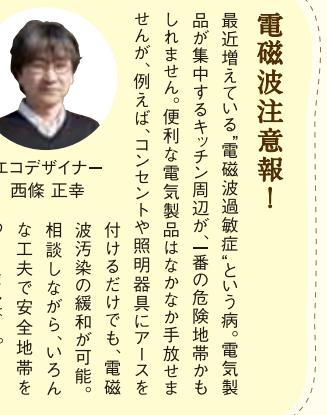


“安心安全”ができるまで。

脱・電磁波&“ありきたり”。

取材・文／はらみづほ

写真／蘿野 孝行



電磁波注意報！

最近増えている「電磁波過敏症」という病。電気製品が集中するキッチン周辺が一番の危険地帯かもしれません。便利な電気製品はなかなか手放せませんが、例えばコンセントや照明器具にアースを付けるだけでも、電磁波汚染の緩和が可能。相談しながら、いろんな工夫で安全地帯をつくりましょう。

「主人の転勤による引越しと、出産と子育ての連続で疲労し、暖房便座に座ると体調を崩すと気づいたのがきっかけで、電磁波過敏症だと自覚したんです」と語る則子さんは、3人の母とは思えぬほど若々しい自然派レディ。電気もアンテナもない山の中で暮すしかないのかと悩んでいたある日、雑誌で西條さんの会社を知り訪問。電磁波対策や自然な家づくりへの徹底した配慮に感動し、ここに頼むしかない!と即決したそうです。

「電磁波や化学物質対策に加え、自前のステンドグラスやアンティーク家具を内装に使う加工やアレンジもお願いでき、夢が叶いました。オヤジギヤゲで和ませてくれる西條さんと、若いのに頼りがいのある山端さん(設計士)の絶妙コンビのおかげで、打合せも家づくり作業も本当に楽しかった!あの窓は苦労をか

けたなーとか、この壁は西條さんの息子さんが塗ってくれたなーとかね我が家は西條デザインの皆さんとの思い出でいっぱいなんです」と則子さんは、山端さんがそれを図面やイラストにしてきてくださって、それがね、「何でここまでわかったの?」と思うほど的确なんです。私の好みや望みの理解が早く感激したし、安心できましたね。職人さんや業者さんも皆さんいい笑顔で、マナーもきちんととしていらして、ご近所の評判も良かったんですよ。私たち家族が見ていない時も、誠実にお仕事してくださっていると感じました。本当は完成後、お一人ずつお礼を言いに行きたかったくらい感謝しています。

『安心安全』のベースは、まさに根ざした的確な説明や、誠実な行動。今回の取材で、あらためてそんな事実を、確認させられた気がします。

1言えば10伝わる、
という安心。

